

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境保全経費見積調整費	担当部局	総合環境政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和46年度	担当課室	環境計画課企画調査室	中尾 豊				
会計区分	一般会計	施策名	9-1 環境基本計画の効果的実施					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境省設置法第4条第3号	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境保全経費の見積り方針の調整及び取りまとめにおいては、環境基本計画を踏まえ、環境保全に係る施策が政府全体として効率的、効果的に展開されることを目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境省は環境省設置法第4条第3号に基づき環境保全経費の見積り方針の調整を行うこととされており、その結果を資料に取りまとめ、国会等に説明している。環境保全経費の見積り方針の調整は、平成18年4月7日に閣議決定された第3次環境基本計画を踏まえて実施する。 関係府省から提出される環境保全経費データは、環境に関する多岐の分野にわたる莫大なデータが環境省に送付される。これらのデータを効率良く集計・解析するシステムを構築し、これを用いて環境保全経費の見積りの方針の調整に係る結果を取りまとめている。さらに、国会等に説明するための印刷製本を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	2	2	2	2	3	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	2	2	2	2	3	
	執行額	3	3	3				
執行率(%)	150%	150%	150%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	当事業は、環境省設置法第4条第3号に基づいて、環境保全経費の見積り方針の調整を行うことと等であり、定量的な数値目標では示すことは困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	集計項目(予算要求における事項等)		活動実績 (当初見込み)	項目	約2,000	約2,000	約2,000	(約2,000) (約2,000)
単位当たりコスト	-		算出根拠	当事業は、環境省設置法第4条第3号に基づいて、環境保全経費の見積り方針の調整を行うことと等であり、単位当たりコストを算出することは困難。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	庁費	0.3	0.3	税制改正及び震災関係予算に対応したシステムに更新し、機能を充実させるため。				
	環境保全調査費	1.8	2.8					
計	2	3						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>環境省設置法第4条第3号に基づいて実施される本事業については、関係府省から提出される環境保全経費データは、多岐の分野にわたる莫大なデータが環境省に送付されている。短い集計期間の中で、引き続き、関係府省にとりまとめのスケジュールを示し、データの適切な整理・提出に協力を求めている。</p> <p>また、システム機能の充実を図ることで、一層の適切な集計作業の効率化を推進していく。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		環境省設置法に基づく事業であるため、必要性は認めるが、予算の効率化を図ること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		事業量の増加により予算要求額は増えたものの、必要最小限の内容とした。	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省
3百万円



【一般競争入札・請負】

A. (株)インテージ
3百万円

関係各府省における環境保全経費等に
係るデータを概算要求段階及び政府予
算案決定段階において取りまとめるため、
予算の入力等システムを作成するととも
に、集計・解析の作業補助にあたる。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)インテージ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム構築費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インテージ	関係各府省における環境保全経費等に係るデータを概算要求段階及び政府予算案決定段階において取りまとめるため、予算の入力等システムを作成するとともに、集計・解析の作業補助にあたる。	3	1	99.6%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					